

大阪市立
西淀川
特別支援学校

タイトル(テーマ)
「指さして、タッチタッチ！」

西淀川 No 10 号
平成
27 年 3 月 31 日

対象の児童生徒
中学 部 3 年




困り感
聴覚障がいを併せ有する生徒が、一人で遊びながら何かを待つことができるようになるには、どうしたらいいか。




取り組みの内容・授業の様子等

【使用アプリ、機器等】:①「タッチ！あそべビー」、②「森の冒険」



【内容・授業の様子】:①食べ物を大きな口を開け食べるアニメーションをタッチ操作で展開させる。食材に合わせておいしい・酸っぱいなどの表情になる。
② タッチ操作で小鳥が森の中を飛び回る。小鳥が立ち寄る各場面でハプニングが起こり笑いを誘う展開が仕掛けてある。
本生徒は聴覚障がいを併せ持っており、要求を表現する時や提示内容を理解する時に指し示す人差し指の働き・認識が重要。そこで、①、②のアプリを指差した物を見ること、興味を持った物を指差すことへの意識を高めるために使用した。



指差しに向けて



アプリ名
森の冒険



一緒にもぐもぐ

成果と今後の課題
【成果】使用を継続する中で、人差し指への興味が高まり、指差した方向へ視線を向けたり、画面を人差し指で操作したりするようになった。
① ②人差し指への興味だけでなくハプニングが起こったときに笑ったり、食材を食べる画面に合わせて口を同じようにもぐもぐと動かしたり、画面を理解していると思われる場面が数多く見られた。
【課題】聴覚障がいを重複する生徒に対する視覚支援の重要性の引き継ぎ。